

平成 20 年度予算案における環境保全経費の概要について

環境省は、今般、関係府省の平成20年度環境保全経費を取りまとめました。
平成20年度の環境保全経費の総額は、2兆2,141億円で、平成19年度の当該額（当初予算）に比べ251億円、1.1%の減少となっています。

1 環境保全経費とは

環境保全経費とは、政府における地球環境の保全、公害の防止並びに自然環境の保護及び整備に関する経費を総称したものです。

環境保全経費は、複数の関係府省において取り組まれている環境保全に係る施策が、政府全体として効率的、効果的に展開されるよう、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき環境省が見積りの方針の調整を行い、取りまとめているものです。

2 平成 20 年度環境保全経費の総額

平成 20 年度環境保全経費の総額：2兆2,141億円

上記に係る平成 19 年度当初予算額 2兆2,391億円と比較すると、

251億円、1.1%の減

(注) 上記に係る平成 19 年度当初予算額は、既に公表した“平成 19 年度環境保全経費”当初予算額、2兆949億円と異なっているが、これは、今般、京都議定書目標達成計画予算等と整合を図り、原子力発電所立地促進等に係る経費を新たに環境保全経費に含めることとしたことによるものである。従来ベースでの平成 20 年決定額の総額は、2兆629億円であり、“平成 19 年度環境保全経費”当初予算額と比して 320 億円、1.5%の減となる。

3 平成 20 年度環境保全経費の内訳

	20 年度（上記に係る平成 19 年度当初予算額）
(1) 地球環境の保全	6,597 億円（ 6,354 億円）
* 従来ベースでの要求・要望額での比較	5,085 億円（ 4,912 億円）
森林整備、エネルギー関係（省エネ、新エネ、原子力関係含む。）、 省CO2型の都市づくり、地球環境に関する観測等 ＜農林水産省、経済産業省、国土交通省、文部科学省、環境省等＞	
(2) 大気環境の保全	2,821 億円（ 2,797 億円）
沿道環境改善、交通安全施設整備、低公害車普及推進・技術開発等 ＜国土交通省、警察庁、経済産業省、環境省等＞	
(3) 水環境、土壌環境、地盤環境の保全	7,868 億円（ 8,195 億円）

下水道整備、排水施設整備、水系環境整備等
 <国土交通省、農林水産省、環境省等>

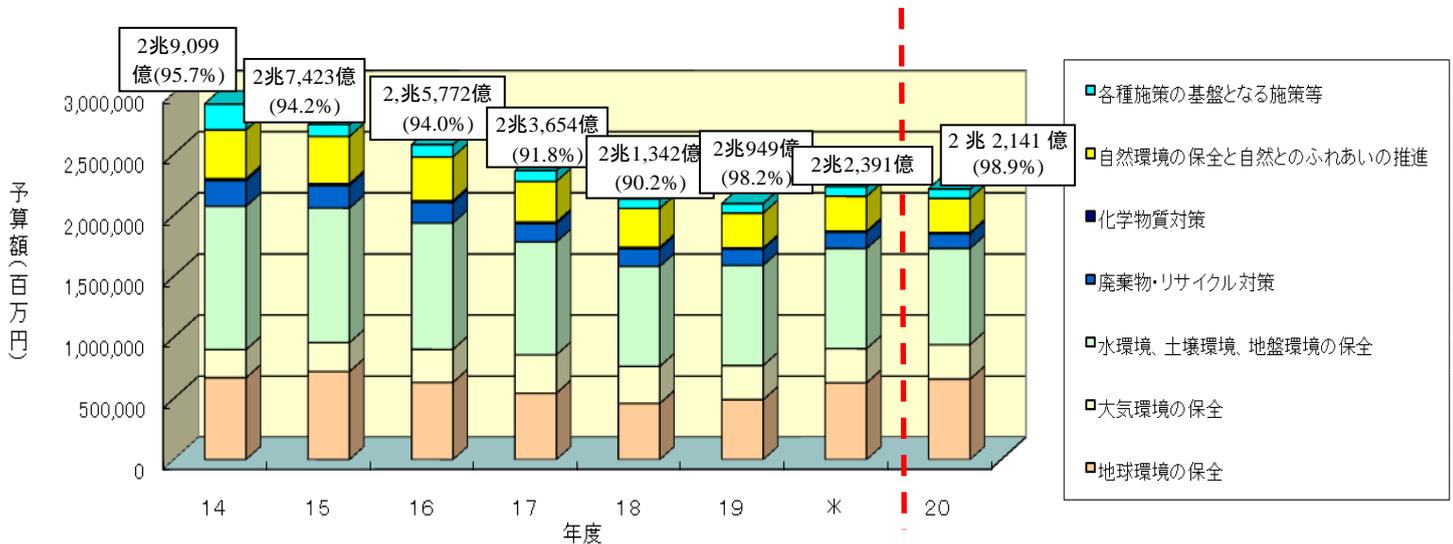
(4) 廃棄物・リサイクル対策・・・・・・・・・・ 1,206 億円 (1,321 億円)
 廃棄物処理・再生利用施設整備、バイオマス利活用等
 <環境省、農林水産省、国土交通省等>

(5) 化学物質対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 92 億円 (98 億円)
 化学物質リスク研究・調査、化学物質評価管理等
 <厚生労働省、環境省、経済産業省等>

(6) 自然環境の保全と自然とのふれあいの推進
 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,796 億円 (2,851 億円)
 都市公園・自然公園整備、治山事業、自然環境保全等
 <国土交通省、農林水産省、文部科学省、環境省等>

(7) 各種施策の基盤となる施策等・・・・・・・・ 761 億円 (776 億円)
 環境技術開発、流通・物流効率化等
 <環境省、経済産業省等>

(参考) 環境保全経費の推移



注：() 内は対前年度比

4 「環境保全上意義の高い新規事項の例」の概要

関係府省の新規要求予算のうち、環境保全の観点から特に高い効果が期待できると考えられる施策として、概算要求時に取りまとめた「環境保全上意義の高い新規事項の例」については、7事業のすべてが認められた。(概算決定額 10,154 百万円)

(参考) 平成20年度 府省別・事項別 環境保全経費一覧

(単位：百万円)

	地球環境 の保全	大気環境 の保全	水環境、 土壌環 境、地盤 環境の保 全	廃棄物・ リサイク ル対策	化学物質 対策	自然環境 の保全と 自然との ふれあひ の推進	各種施策 の基盤と なる施策 等	合 計
内閣府	1,401	23,347	13,389	3,359	—	10,963	147	52,607
総務省	334	27	—	—	—	—	585	946
法務省	—	465	—	—	—	—	—	465
外務省	6,222	—	—	—	—	—	—	6,222
財務省	430	—	—	—	0	—	—	430
文部科学省	67,520	—	6,809	—	—	16,346	491	91,167
厚生労働省	1,703	—	416	—	2,239	—	—	4,358
農林水産省	156,685	—	76,805	15,701	1,548	117,184	12,953	380,875
経済産業省	307,372	4,938	2,533	1,457	1,237	156	1,637	319,330
国土交通省	67,721	187,611	684,117	11,377	—	118,506	215	1,069,547
環境省	50,269	2,220	2,147	88,686	4,150	16,374	60,120	223,968
防衛省	—	63,509	539	41	—	72	—	64,162
合計	659,658	282,118	786,757	120,621	9,174	279,602	76,149	2,214,079

注1) 百万円未満は四捨五入した。

2) 端数処理(四捨五入)の関係で、合計が一致しない場合がある。

3) 表中、「—」は予算が計上されていないもの、「0」は予算が計上されているが百万円以下のもの

平成20年度環境保全経費における環境保全上意義の高い新規事項の例

(単位:百万円)

施策名	概要	概算 決定額	府省名
住宅・建築物『省CO ₂ 推進モデル事業』	家庭部門・業務部門のCO ₂ 排出量が増加傾向にある中、住宅・建築物における省CO ₂ 対策を強力に推進するため、先進的かつ効果的な省CO ₂ 技術が導入された先導的な住宅・建築プロジェクト及び省CO ₂ 技術に関する評価・広報に対して助成を行う。	5,000	国土交通省
ソフトセルロース利活用技術確立事業	食料供給と競合しない稲わら等のソフトセルロースを原料として、収集・運搬からバイオ燃料を製造・利用するまでの技術実証を一体的に行い、ソフトセルロース系原料の利活用技術を確立する。	3,237	農林水産省
高齢級森林整備促進特別対策事業	間伐実施者が民間資金を借り入れる際に、事業リスクを軽減する利子補給等の助成を実施することにより、高齢級林分の間伐を推進し、京都議定書第一約束期間における森林吸収目標の達成に貢献する。	1,000	農林水産省
低炭素社会関係予算（地球環境研究総合推進費〔競争的資金〕の一部）	CO ₂ 排出量の少ないまちづくり、交通システム形成、自然共生等の多様な視点で今後必要な取組についてのシミュレーション等による政策研究を行い、低炭素社会の姿をわかりやすく提示する。	350	環境省
地球温暖化対策のための大気環境観測機能の強化	南鳥島気象観測所（東京都小笠原村）及び沖縄気象台（那覇市）に高性能の温室効果ガス観測装置等を整備し、高精度・長期連続観測を実現し、大気環境変化を監視するとともに、地球温暖化予測の不確実性の低減、効果的・効率的な地球温暖化対策の実施、ポスト京都議定書の検討に貢献する。	113	国土交通省
環境負荷低減国民運動支援ビジネス推進事業	「1人1日1kg」の温室効果ガス削減をモットーとした地域ぐるみの国民運動を促進するため、企業・個人に向けて温室効果ガスの排出削減につながる取組への助言や排出削減の普及啓発などを行うビジネスに対して支援を行う。	120	経済産業省
廃棄物系バイオマス次世代利活用推進事業	生ゴミや下水道汚泥、家畜糞尿、木くず等多様な廃棄物系バイオマスの利活用について、メタン化、飼料化等地域特性に応じたソフト面からの収集運搬システムの実証等を行います。	334	環境省